

夢への飛躍

金沢桜丘高校いしかわニュースーパーハイスクールだより

令和4年度 第1号
編集：NSH推進課
発行責任者：正村泉一

東京証券取引所出前講座

今回は、7月14日（木）6～7限に人文科学コースの生徒を対象に行われた、(株)東京証券取引所金融リテラシーサポート部による「東京証券取引所リモート出前講座」についてお知らせします。

Part1 株式会社のしくみと株式市場

社会や経済の動きと株価について、また株式会社のしくみ及び機能について学びました。

Part2 株取引体験

具体的なニュースを聞いて、株の売買をする『ブルザ』というボードゲームを使用し、社会・経済の動きと企業業績・株価変動の関係について学びました。



リモートで講義を受けました



「ブルザ」体験中



「外国人観光客が増えた」どの株を買えばいいの!?

●感想●

- ・ニュースを見てもどうして株価がさがるのかなと疑問に思った。やはり、はじめてのことだから、予想が外れることが多かった。株主は、ニュースで公になる前に予想して売買していると思うとすごい。
- ・今までなんとなく流していた円安などのニュースを、これからもっと深く見てみようと思う。
- ・ゲームで株の売買をやってみたことで、世間の些細な動きで株価が変動すると分かった。
- ・株による資産形成が注目されている中で、一番上手な株式売買の方法を知りたい。

●講座後寄せられた質問とその回答（株東京証券取引所金融リテラシーサポート部町田貴子様より）●

Q「株を買うときはニュースみてからじゃ遅いですか。」

A：取引のプロである機関投資家は、テレビなどのニュースになる前に、自分で情報を取りに行き、そのほかの投資家よりも先に売買をしています。そう考えると遅いかもしれませんが、例えば、株式を買う場合、長い目で見て、今後、会社が成長するかどうかを予想したうえで取引をしようと考えれば、決して遅くはないです。投資とは短期で行うばかりでなく、長期間をかけて行ったほうがより良い結果を得られる可能性もあります。

Q「株をどこでどうやって買う（売る）のか。」

A：上場している株式は、株式を売り買いたい人が、証券会社に注文を出し、その注文が取引所に来て、売買が成立します。対面でもネットの売買でも、まずは証券会社の口座が必要です。